

平成 23 年度調査研究報告書

交通事故映像の活用による  
交通安全教育DVDに関する調査研究

報 告 書

平成 24 年 3 月

自動車安全運転センター

## はじめに

近年、タクシー事業者や運送事業者をはじめ、一般のドライバーにおいても、ドライブレコーダー（映像記録型事故記録装置）を搭載する動きが広がっており、ドライブレコーダーは事故防止や事故の原因究明に効果があるとされています。ドライブレコーダーは、運転者目線で捉えられた事故状況や事故に至らなかったヒヤリハット場面を記録していることから、交通安全教育への活用も期待されています。

しかし、ドライブレコーダーに事故映像やヒヤリハット映像が記録されていても、事業者等においては、その活用方法がわからない、膨大な数の映像を適切に整理・取り扱いができない、といった問題もあり、ドライブレコーダーが記録した事故映像やヒヤリハット映像の多くは死蔵されているように思われます。

そこで、自動車安全運転センターでは、特に自動車の運転に係わる基本的な安全運転行動の再確認を行うことを目的に、ドライブレコーダーによって記録された映像の中からこの目的に合致する特徴的なものを選定し、この映像と当該交通場面に関する適切な交通事故防止解説等を含めた視聴覚教材「交通安全教育 DVD：危険です！その“焦り”運転」を作成しました。作成した DVD は、個人で視聴した場合でも、十分理解できるように工夫した構成としていますが、更に、自動車の運行を伴う事業者や一般の交通教育機関等においても、指導者が適切に DVD を活用できるように、「交通安全教育 DVD 指導ガイド」も作成しました。

本報告書はこれらの調査研究の結果をとりまとめたものであり、作成した DVD や指導ガイドが各種の安全運転教育の場において広く活用いただければ幸いです。

本調査にご参加くださり、ご指導いただいた委員の皆様並びにご協力いただいた関係各位に深く感謝の意を表します。

平成 24 年 3 月

自動車安全運転センター  
理事長 小林 武仁

平成 23 年度調査研究

「交通事故映像の活用による交通安全教育DVDに関する調査研究」委員会委員名簿  
(順不同、敬称略)

《 委員会委員 》

委員長	松永 勝也	九州産業大学情報科学部教授/大学院情報科学研究科長
	山田 稔	茨城大学工学部都市システム工学科准教授
	伊藤 勝利	(社)全日本トラック協会交通・環境部長
	北島 創	(財)日本自動車研究所安全研究部衝突安全第3グループ研究員
	鳥塚 俊洋	(株)JAF MATE 社編集部 JAF MATE 編集長
	水越 実	(財)全日本交通安全協会安全対策部長
	舟山 健司	(財)交通事故総合分析センター研究部研究第1課研究員
	牧下 寛	警察庁科学警察研究所交通科学部付主任研究官

《 オブザーバー 》

	光本 憲秀	警察庁交通局交通企画課課長補佐
--	-------	-----------------

《 事務局 》

(自動車安全運転センター)

	石川 博敏	理事
	萩原 和則	調査研究部調査研究課課長代理
	倉内 麻美	調査研究部調査研究課主任
	佐藤 直方	安全運転中央研修所研修部研修統括

(社会システム株式会社)

	杉本 岳史	社会経済部交通企画調査室次長
	金 載昷	社会経済部交通企画調査室

(株式会社 CN インターボイス)

	榛葉 嘉基	製作本部映像・展示東京グループ長
--	-------	------------------

## 目 次

第1章 調査研究の目的.....	1
第2章 調査研究の概要.....	1
2-1 業務概要.....	1
2-2 委員会の開催.....	2
第3章 「交通安全教育 DVD 案」作成のための企画案作成.....	2
3-1 「交通安全教育用 DVD」の作成方針.....	2
3-2 基本条件.....	2
3-3 DVD 映像の基本構成.....	3
3-4 DVD 映像のシナリオの構成.....	3
第4章 交通事故等の映像シーン及び道路状況等の収集.....	8
4-1 ドライブレコーダー映像の収集.....	8
4-2 実走行等による走行映像の撮影.....	9
第5章 「交通安全教育 DVD 案」の編集・作成.....	10
第6章 中央研修所の研修における「交通安全教育 DVD 案」の視聴・評価.....	11
6-1 目的.....	11
6-2 アンケートの実施概要.....	11
6-3 調査方法.....	11
6-4 アンケート結果.....	12
第7章 「交通安全教育 DVD」及び「指導要領」のとりまとめ.....	24
7-1 「交通安全教育 DVD」のとりまとめ.....	24
7-2 「指導要領」のとりまとめ.....	24
付録	
付録1 交通安全教育 DVD シナリオ.....	付録-1
付録2 視聴・評価アンケート票.....	付録-17

## 第1章 調査研究の目的

平成22年の交通事故件数の約43%、死亡事故の約37%は交差点で発生している。この交差点や生活道路でドライブレコーダー（映像記録型事故記録装置）から記録された交通事故が起きた運転状況や周辺状況についての映像を収集して、映像と当該交通事故に関する事故防止解説等で構成した視覚及び聴覚に訴える視聴覚教材「交通安全教育DVD」の作成を行い、中央研修所で実施する研修をより高度な交通安全教育とするとともに、各種の安全運転教育の場において広く活用してもらうことを目的とした。

## 第2章 調査研究の概要

### 2-1 業務概要

「交通事故映像の活用による交通安全教育DVD」（以下、「本業務」という。）は、以下の項目を遂行することにより、「交通安全教育DVD」並びに当該DVD映像に沿った交通事故防止のための解説や指導方法を踏まえた「指導要領」を作成した。

- 「交通安全教育DVD案」作成のための企画案作成
- 交通事故等の映像シーン及び道路状況等の収集
- 「交通安全教育DVD案」の編集・作成
- 中央研修所の研修における「交通安全教育DVD案」の視聴・評価
- 「交通安全教育DVD」及び「指導要領」のとりまとめ

本調査研究の全体フローは図2-1のとおりとなる。

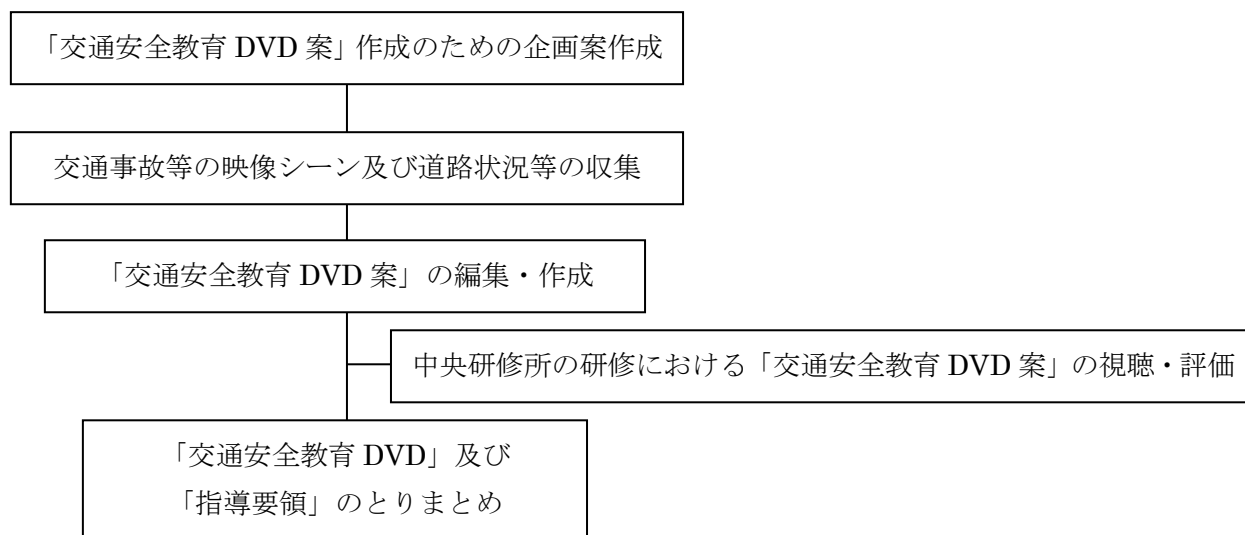


図 2-1 調査研究の全体フロー

## 2-2 委員会の開催

本業務を遂行する上で、官民有識者による委員会を設置した。委員会では、事務局で整理した企画案、シナリオ案、交通安全教育 DVD 試作版に対する協議のほか、各関係機関の立場での知見を教示いただき、安全運転教育により効果のある視聴覚教材の作成を目指した。

平成 23 年 7 月 29 日(金)	第 1 回委員会	・ 本業務の趣旨確認 ・ シナリオ企画案に対する審議
平成 23 年 9 月 8 日(木)	第 2 回委員会	・ シナリオ(案)に対する審議
平成 23 年 12 月 15 日(木)	第 3 回委員会	・ 交通安全教育 DVD 試作版の評価 ・ 指導要領に対する審議
平成 24 年 2 月 27 日(月)	第 4 回委員会	・ 交通安全教育 DVD、指導要領の確認

## 第 3 章 「交通安全教育 DVD 案」作成のための企画案作成

### 3-1 「交通安全教育用 DVD」の作成方針

車載型事故記録装置（ドライブレコーダー）等による記録映像を活用した交通安全教育用 DVD 等は、各種研究・教育機関、及び運送事業者等においても制作されているところである。そのなかで、今回、自動車安全運転センターとして交通安全教育用 DVD 作成にあたっては、次のような方針で作成することとした。

- 教育の対象者は、ある程度運転経験を積んでおり、慣れによる危険な運転行動もみられるような一般的なドライバーとする。
- 周知されているはずの交通ルールのうち、初歩的かつ基本的な点について改めて確認させることを教育目的とする。
  - ・ 交差点の安全な通行（信号あり/なし、一時停止等）
  - ・ 単路の走行（生活道路）

### 3-2 基本条件

交通安全教育用 DVD 作成にあたっては、以下の点を基本条件とした。

- ・ 講義等におけるヒトの集中力の持続時間などを考慮し、「飽き」を発生させぬよう 30 分以内の映像とする。
- ・ 危険予知トレーニング（KYT）等の手法を取り入れる。
- ・ 単にドライブレコーダー等の映像を事例紹介として見せるのではなく、写し出された事故、ヒヤリ・ハット場面等を回避するための適切なアドバイスを盛り込む。
- ・ 作成する交通安全教育用 DVD を用いた適切な指導を行うための「指導要領」を作成する。

### 3-3 DVD映像の基本構成

DVD映像の基本構成を示す。提示するシナリオの基本構成は、下表に示す通り、3つのパートで構成するものとした。

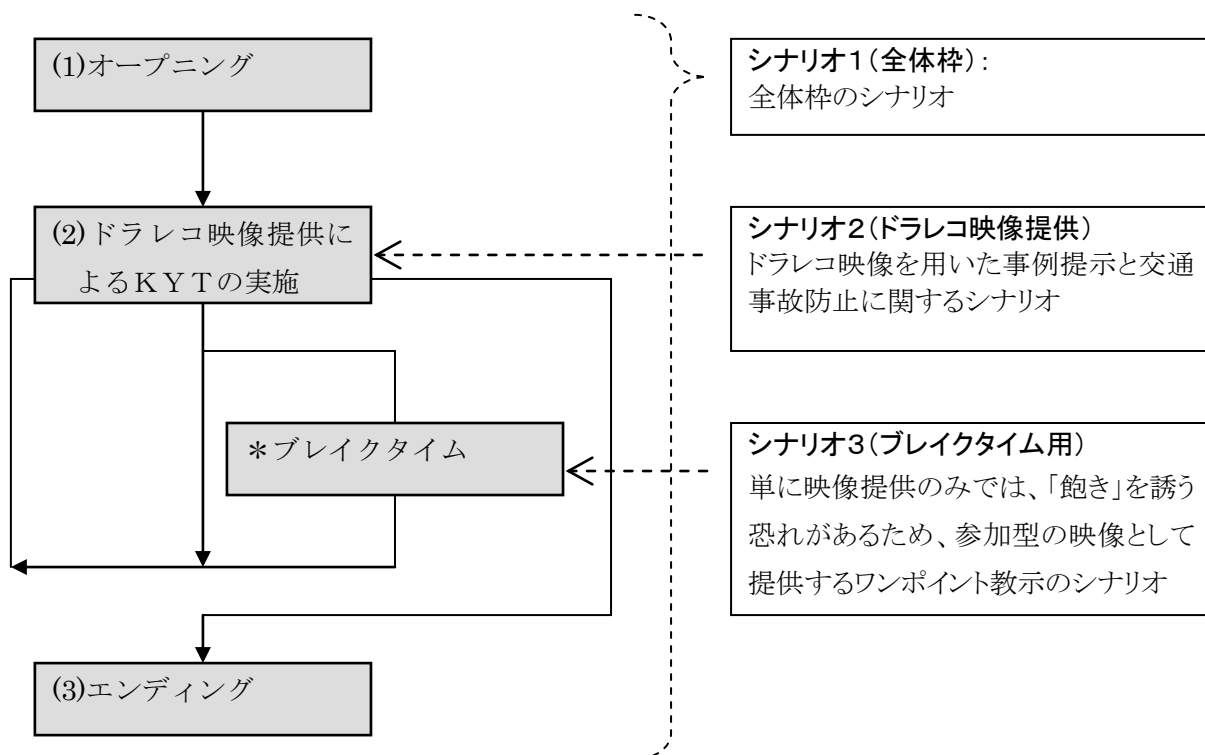


図 3-1 DVD映像の基本構成（案）

### 3-4 DVD映像のシナリオの構成

上図に示したシナリオ1からシナリオ3までについて概要を以降に示す。

表 3-1 シナリオ 1（全体枠）

大分類	中分類	説明内容
(1)オープニング (2, 3分)		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 普段の運転に関する問いかけ</li> <li>• 本DVDに関する概略説明。</li> </ul>
(2)ドラレコ映像提供によるKYTの実施 (25分程度)	5種類程度の場面提供	シナリオ2（ドラレコ映像提供）参照
	ブレイクタイム	シナリオ3（ブレイクタイム用）参照
(3)エンディング (2, 3分)		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 安全運転を行う上で基本となる注意ポイント説明、心掛けの呼び掛け。</li> <li>• 安全センターの簡単な紹介</li> </ul>

表 3-2 シナリオ 2 (ドラレコ映像提供) (1/3)

中分類	概 要	説明内容
<p>ドラレコ映像提供によるKYTの実施 (25分前後)</p>	<p>*1 事例に対して、以下の①～⑥を提示する。</p> <p>① 走行シーンの状況説明。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 事例について①～⑥を行うと4, 5分程度必要と考えるため、5事例程度とする。</li> <li>映像の運転者の行動(見えてくる交差点での右左折、直進等)を視聴者に周知させて、視聴者自身の場合の運転行動を想定させるために、走行シーン開始直後に別撮り静止画、若しくはCG等で用いて事前説明を行う。</li> </ul> <div data-bbox="1111 655 1496 916" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1518 655 1928 874" data-label="Text"> <p>○目的地近くに到着しました。これから、400m程度先にある信号がある交差点を右折して目的地に行こうと思っています。</p> </div> <div data-bbox="1111 943 1496 1246" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1518 967 1928 1137" data-label="Text"> <p>○右折する交差点は、このように信号があり、右折専用車線もあります。</p> </div>



表 3-3 シナリオ 2 (ドラレコ映像提供) (2/3)

中分類	概 要	説明内容
	<p>②危険な状況となる手前で映像ストップ。</p>	<p>・自動停止させて、視聴者自身が当該行為を行う上での確認ポイントを検討させる時間を取る。</p> <div data-bbox="1108 443 1494 703" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1518 443 1928 592" data-label="Text"> <p>○右折する交差点に到着しました。 ○あなたは、右折するにあたって、どのような点に注意を払いますか？</p> </div>
	<p>③当該映像での注意が必要と考えられる確認ポイントを提示。</p>	<p>・DVD 操作によって、停止している映像上に当該場面における全ての確認ポイントを表示し、視聴者が想定した確認ポイントとの合否を把握させる。</p> <div data-bbox="1108 927 1494 1187" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1518 927 1928 1289" data-label="Text"> <p>○右折するにあたっては、信号の現示とともに、このようにいくつかの確認ポイントが挙げられます。 ○あなたはいくつ確認できましたか？ ○それでは、この映像の続きを見ましょう。</p> </div>

表 3-4 シナリオ 2 (ドラレコ映像提供) (3/3)

中分類	概 要	説明内容
	<p>④映像を動かし、この場面ではどのような事態が起こったか提示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故、ヒヤリ・ハット場面の提示。</li> </ul> <div data-bbox="1108 395 1494 655" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1518 395 1928 541" data-label="Text"> <p>○このケースでは、駐車車両の陰から自転車が飛び出し、危うく衝突するところでした。</p> </div>
	<p>⑤運転行動の問題点、検討される適切な通行方法の説明。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故、ヒヤリ・ハットに至った各車両、人との位置関係、見落とし、死角等について、別撮り静止画、若しくはCG等で用いて説明。</li> <li>・先の③の時点での確認ポイントのうち、映像の事象を防ぐために特に注意すべきであったポイントを説明。</li> </ul> <div data-bbox="1133 876 1518 1136" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1563 876 1948 1136" data-label="Image"> </div>
	<p>⑥適切な運転方法を教示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央研修所の教官による模範的な運転方法を描写、説明する。</li> </ul>

表 3-5 シナリオ 3 (ブレイクタイム用)

概要	提供場面	説明内容
<p>①標識を認知したか確認させる映像（走行中の標識確認の有無の把握）</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>この映像の市街路を自分で運転していると仮定してください。</li> <li>速度は概ね〇km/hで、約〇m先の交差点で停止してもらいます。</li> <li>映像を動かします。 (先行車両に追従して交差点に向かって映像を流す。途中、走行速度より低い最高速度を示す標識を通過する。)</li> <li>この道路は何 km/h で走行する道路ですか。</li> <li>途中の標識（標示）に〇km/hと出ていました。気がつきましたか。</li> </ul>
<p>②歩行者が待っている横断歩道の手前で停止するか否か判断させる映像（歩行者優先の法規の認知確認）。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>この映像の市街路を自分で運転していると仮定してください。</li> <li>速度は概ね〇km/hで、約〇m先の交差点で停止してもらいます。</li> <li>映像を動かします。 (先行車両、後続車両なしで交差点に向かって映像を流す。途中、横断歩道を渡ろうとする歩行者の前を通過する。)</li> <li>この映像を見て、横断歩道を渡ろうとしていた歩行者が危険な行為をしていると感じましたか。それともこの運転者が止まるべきと感じましたか。法規上では、クルマを運転するあなたが一時停止をしなければなりません。</li> </ul>

## 第4章 交通事故等の映像シーン及び道路状況等の収集

### 4-1 ドライブレコーダー映像の収集

ドライブレコーダーによる事故映像の収集にあたっては、ドライブレコーダーの販売と映像収集による事故解析等の実績がある(株)日本交通事故鑑識研究所と(株)JAF MATE 社にご協力をいただき、各種の事故映像を収集した。



収集した映像から、初歩的かつ基本的な点について改めて確認させること、事故多発傾向がある交差点事故の抑制の観点から、「右折時の事故、ヒヤリ・ハット場面」「信号表示に従わなかったケースでの事故、ヒヤリ・ハット場面」並びに「一時停止を行わなかったケースでの事故、ヒヤリ・ハット場面」を抽出し、委員会の審議を経て5場面選定し、作成する交通安全教育DVDに採択するものとした。

採択したドライブレコーダー映像は、以下のとおりである。

表 4-1 採択したドライブレコーダー映像(1/2)

場 面	映像イメージ	概 要
○右折時のヒヤリ・ハット場面		右折開始前に、自車の右側の歩道上を、同じ方向に通行している自転車の未確認によるヒヤリ・ハット場面
○右折時の事故場面 (夜間)		対向する二輪車の存在を十分に確認せずに先急ぎで右折した際に二輪車と衝突した場面
○信号表示に従わなかったケースでのヒヤリ・ハット場面		黄色信号で停止できるにもかかわらず、交差点内に進入右折し、対向車両と鉢合わせになった場面

表 4-2 採択したドライブレコーダー映像(2/2)

場 面	映像イメージ	概 要
○信号表示に従わなかったケースでの事故場面 (夜間)		黄色信号で停止できるにもかかわらず、交差点内に進入右折し、対向車両と衝突した場面
○一時停止を行わなかったケースでの事故場面		一時停止標識があるにもかかわらず、停止せずに交差点内に進入し、自転車と衝突した場面

#### 4-2 実走行等による走行映像の撮影

収集したドライブレコーダー映像は、基本的に事故やヒヤリ・ハットしたシーンを収集しており、これら危険な場면을回避するための適切な運転方法については示すことができない。また、一時停止の指示がある交差点での停止状況は、車内から撮影されるドライブレコーダー映像では把握しにくいといった欠点もある。

作成する交通安全教育 DVD は、事故につながる危険な事象を未然に防ぐための教育が必要であることから、これらの場面については、別途実走行等によって撮影することとした。

適切な右折方法、並びに一時停止方法については、中央研修所において教官による模範的な運転を実施していただき、その運転方法を映像収集した。また、黄色信号での通行実態等については、一般公道での走行状況を別途撮影して採用することとした。

表 4-3 教育用ビデオ映像の撮影日程

平成 23 年 10 月 26 日 (水)	中央研修所における撮影
平成 23 年 10 月 29 日 (土) 30 日 (日)	一般公道における撮影



図 4-1 中央研修所での撮影状況



図 4-2 一般公道での撮影状況

## 第5章 「交通安全教育 DVD 案」の編集・作成

第2回委員会で審議、検討されたシナリオ案をもとに、採択したドライブレコーダー映像、実走行等による走行映像、並びにドライブレコーダー映像に映し出された場面等の説明用に構成したCG画像を用いて、交通安全教育DVD案を編集・作成した。

作成した映像は、中央研修所の研修における視聴・評価とともに委員会委員による視聴・評価も行い、最終的なチェックを実施した。

## 第6章 中央研修所の研修における「交通安全教育 DVD 案」の視聴・評価

### 6-1 目的

「交通安全教育 DVD(案)」について、内容のわかりやすさ、説明内容の理解状況等を把握し、最終版の「交通安全教育 DVD」の作成に資するため、中央研修所において研修生を対象とした DVD(案)の視聴と、評価のためのアンケートを実施した。

### 6-2 アンケートの実施概要

平成 23 年 12 月 8 日（木）に、中央研修所の研修課程のうち消防・救急緊急自動車運転技能者課程（4 日）普通車に受講した研修生 24 名に対し、当該交通安全教育 DVD(案)を視聴させ、6 つのコンテンツからなる映像をコンテンツ単位にわけて映像提供とその評価を実施させた。

### 6-3 調査方法

DVD(案)の視聴に先立ち、試作版であることを事前に説明し、当該 DVD に関する意見収集を行うことを説明した上で、アンケート票に記述する手法で調査を行った。

アンケート票は資料 2-2 に示すとおりであり、内容のわかりやすさ、違和感の有無、DVD で教示していた内容、並びに視聴による今後の運転行動等に関して設問を行った。

なお視聴にあたっては、研修の都合上、一般の 25 インチ程度のテレビモニタを使用した。



図 6-1 DVD(案)の視聴の様子

## 6-4 アンケート結果

### 6-4-1 対象者の属性

アンケート対象とした研修生全 24 名のうち、男性が 23 名を占め、半数以上が 30 歳代の者である。女性は 20 歳代が 1 名であった。

自動車の運転経験年数は、10～20 年の経験が最も多く、概ね年齢層がそのまま反映された割合となった。

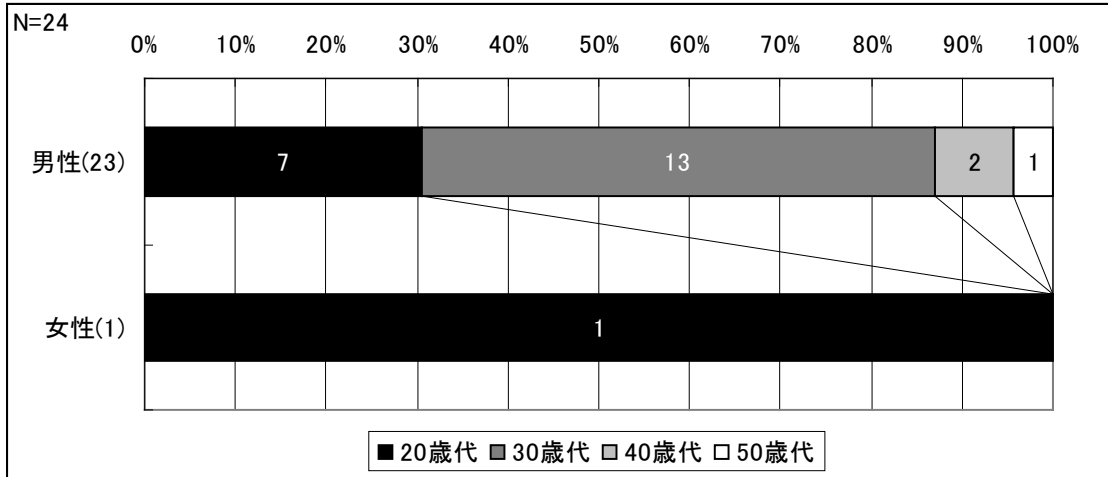


図 6-2 性別対象者年齢層

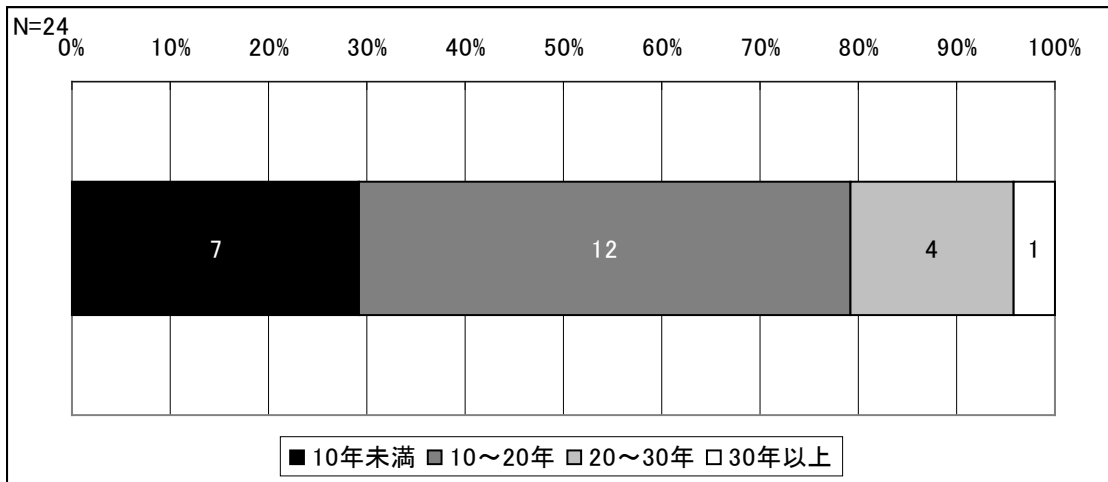


図 6-3 自動車の運転経験年数



## 6-4-2 「右折のポイント」コンテンツについて

### (1) 内容のわかりやすさ

「右折のポイント」コンテンツの内容のわかりやすさを4段階で設問した結果、全体では「非常にわかりやすい」が7名、「わかりやすい」が17名で否定的な意見は皆無であった。

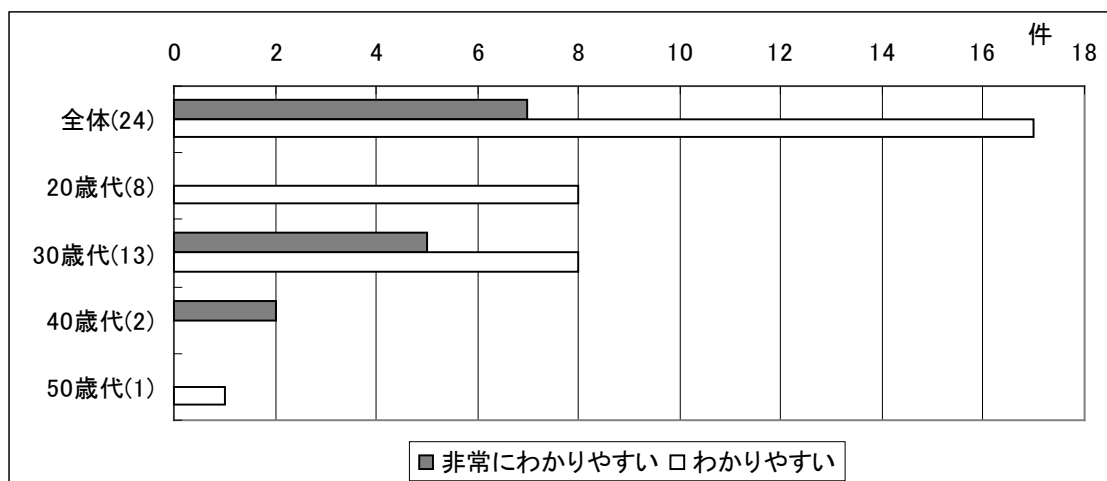


図 6-4 「右折のポイント」内容のわかりやすさ

### (2) 映像に対する違和感の有無

「右折のポイント」コンテンツの映像に対する違和感の有無については、全体では半数弱の11名が「違和感がある」と回答した。年齢層で見ると、20歳代が6名、30歳代が5名であり、その内容についてみると、「Thinking Time が長い」が4名存在し「判り易かったが少し長い」との意見を含め、提供時間の調整が検討される。その他、次表の通りアイデアや嗜好に関する意見であり、大きな違和感ではないものとみられる。

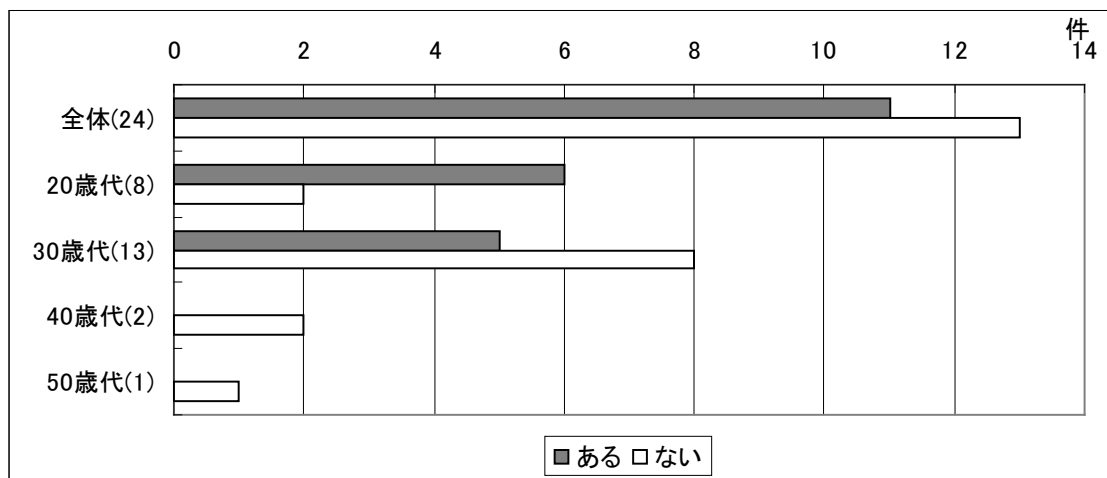


図 6-5 「右折のポイント」違和感の有無

表 6-1 「右折のポイント」違和感の内容

違和感があった点	件数
ThinkingTimeが長い	4
判り易かったが映像が少し長い	1
テロップの文字の色が地味	1
巻き戻し映像がある点	1
夜間の場面での歩行者の服の色を暗めに見たらどうか	1
教官は私服でもよいのでは	1
トラックの場合はオーバーハングがあることも教えてよい	1
音がない	1

(3) 教示した内容の把握状況

「右折のポイント」コンテンツの映像で教示していた内容の把握状況をみると、「右折する際は首を振って目視で安全を確認する」「対向車を譲ってくれても素早く右折しない(設問時は肯定表現)」は、全ての者が教示したことを把握できていた。

「交差点中央位置で対向車との間隔が判らない時は停止したほうが良い」は各年齢層で概ね1名ずつ延べ5名が教示していたことを把握できていなかった。これはナレーションによって「できるだけ交差点の中央の内側位置や横断歩道手前で一時停止し、首を振って安全確認しましょう。(Na-20)」と説明しているため、初めての視聴ではナレーションの長さから「首を振って安全確認すること」のほうにやや強くインパクトがあったものと推察する。

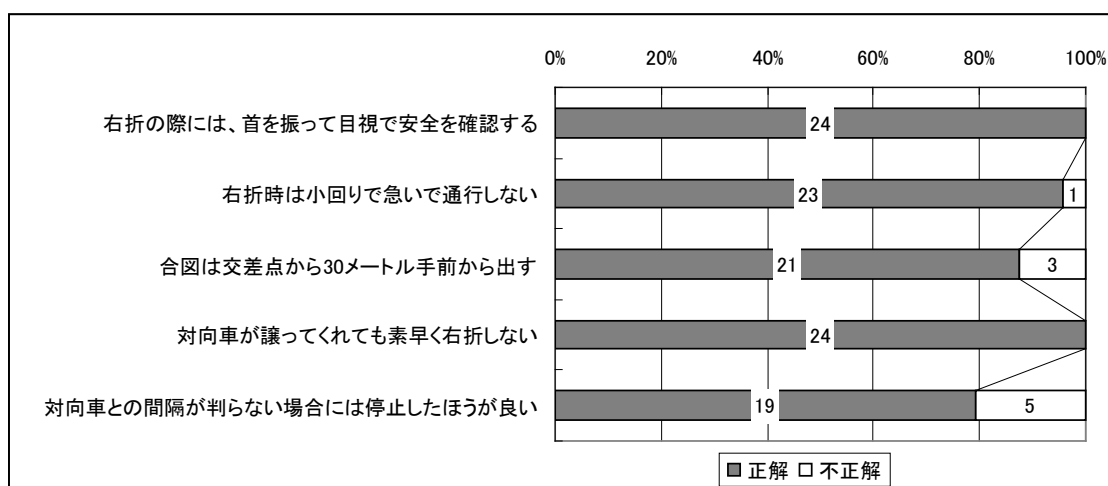


図 6-6 「右折のポイント」教示した内容の把握状況

(4) 指摘された点に対する今後の対応

「右折のポイント」コンテンツにおいて指摘された点に対する今後の対応は、「改めて気をつけようと思った」が19名で大半を占める。残る5名は「既に実行していることなので、特に気にしない」であり、うち3名は20歳代であった。

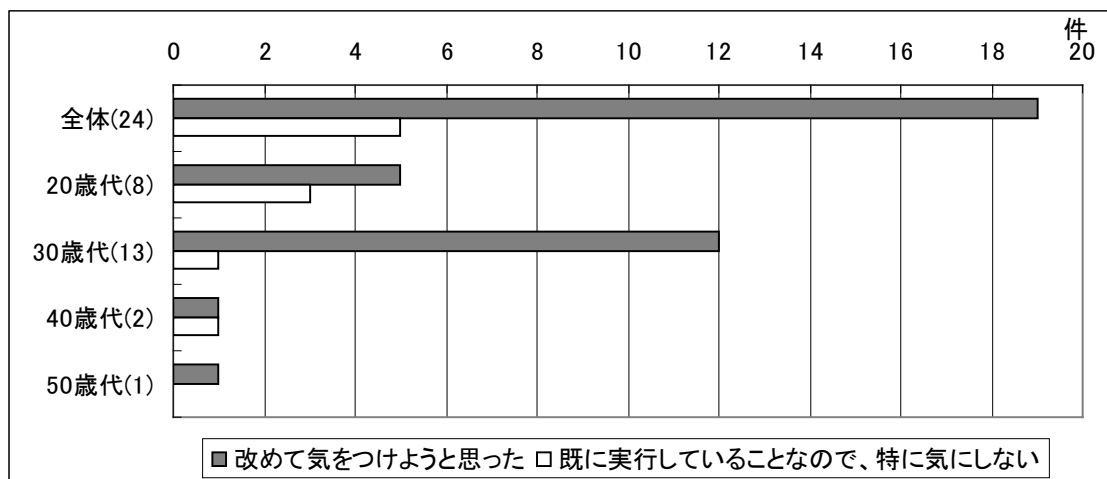


図 6-7 「右折のポイント」教示内容に対する今後の対応

6-4-3 ブレイクタイム1（速度標識の認知）について

最高速度の標識を把握していて正解した者は6名で、残り18名は不正解であった。不正解者が多いものの、全対象者の1/4はきちんと把握しており、実際の公道に存在する映像なので特に問題がある映像ではないと考える。

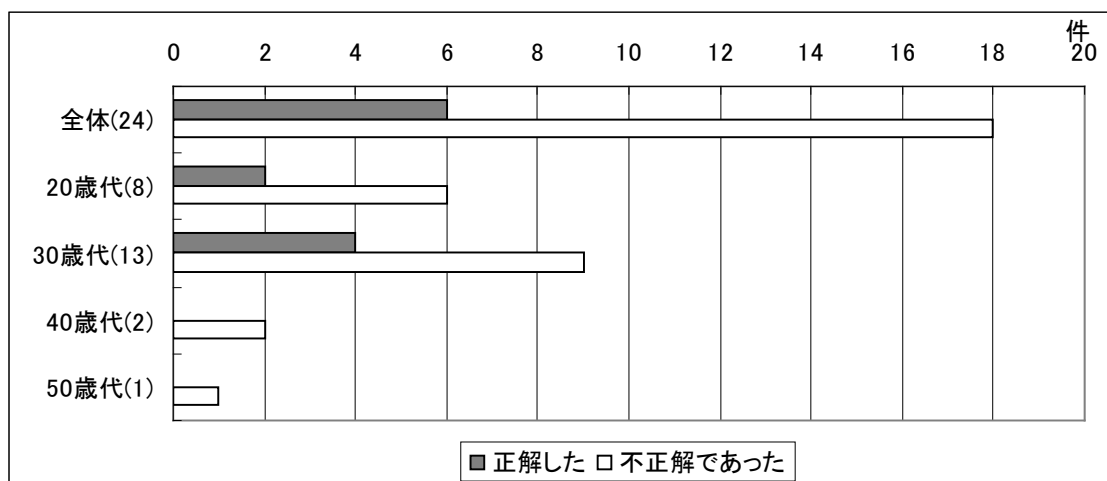


図 6-8 ブレイクタイム1（速度標識の認知）について

#### 6-4-4 「信号の厳守」について

##### (1) 内容のわかりやすさ

「信号の厳守」コンテンツの内容のわかりやすさを4段階で設問した結果、全体では「非常にわかりやすい」が4名、「わかりやすい」が18名であり、「ややわかり難い」が20歳代と30歳代で1名ずつであった。30歳代で「ややわかり難い」を回答した者は、以降で違和感として「ドラレコ映像の見にくさ」を指摘していた。

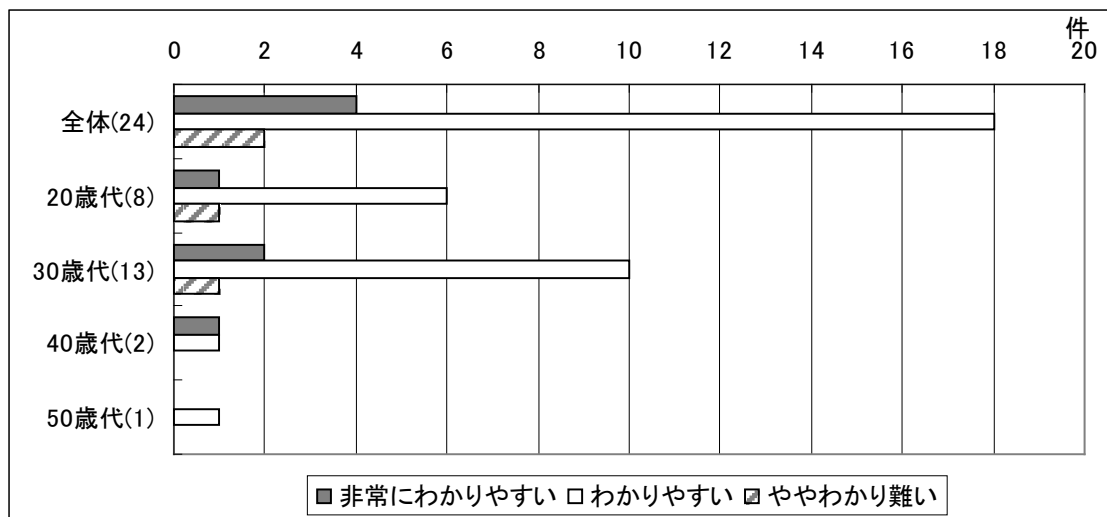


図 6-9 「信号の厳守」内容のわかりやすさ

##### (2) 映像に対する違和感の有無

「信号の厳守」コンテンツの映像に対する違和感の有無については、全体では14名が「違和感がある」と回答した。年齢層で見ると、20歳代が5名、30歳代が4名、40歳代が1名であり、その内容についてみると、「黄信号通過の実映像が長すぎる」「黄信号の話なのに実映像では赤信号での通過が多かった」等の実映像に関する意見、「映像が斜めになっていた」「映像の解像度が低い」「ドラレコ映像は見にくい」「信号の色が判り難い」といったドラレコ映像に対する指摘があがった。前者については、描写する時間について一考することがあげられるものの、後者のドラレコ映像に対する指摘については、アンケート実施時に実際に起こった事故を撮影したドラレコ映像を活用した教育用DVDであることを特に説明していなかったことも起因していると想定される。

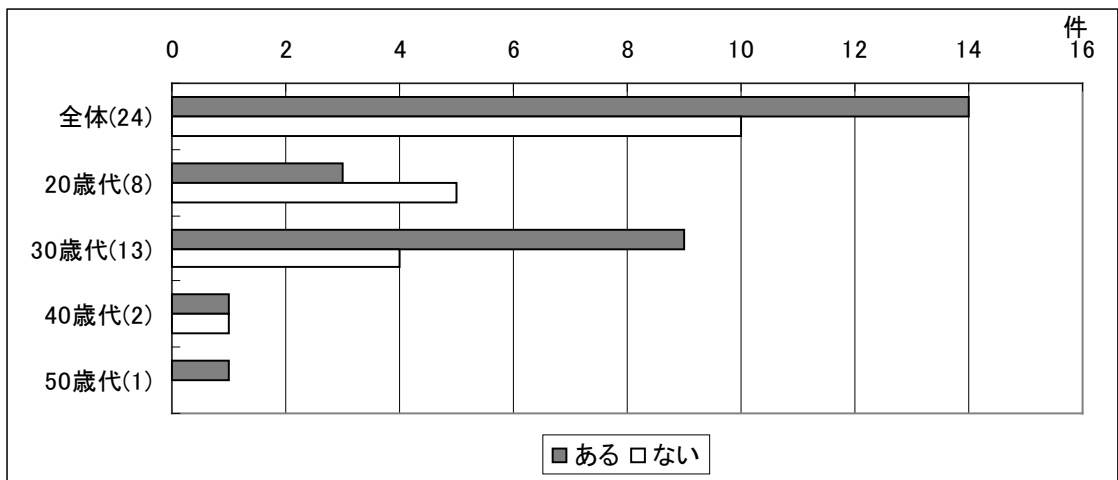


図 6-10 「信号の厳守」違反感の有無

表 6-2 「信号の厳守」違反感の内容

違反感があった点	件数
ThinkingTime(設問に対する考える時間)が長い	1
黄信号通過の実映像は長すぎる	2
黄信号の話なのに実映像では赤信号での通過が多かった	1
映像が斜めになっていた	2
映像の解像度が低い	1
ドラレコ映像は見にくい	1
信号の色が判り難い	1
実際の黄色信号の時間はばらばらであると思う	1
歩行者用信号の青点滅後、すぐに黄信号にならないものもあるのでは	1
対向車も信号を守らないことを訴えてもよいのでは	1
音がない	1

(3) 教示した内容の把握状況

「信号の厳守」コンテンツの映像で教示していた内容の把握状況をみると、30歳代の1名が「歩行者用信号の青点減から、車道の信号が黄色に変わることを予測して、急いで通行することは望ましくない」の教示を把握できていなかったが、それ以外については教示した内容を把握できていた。

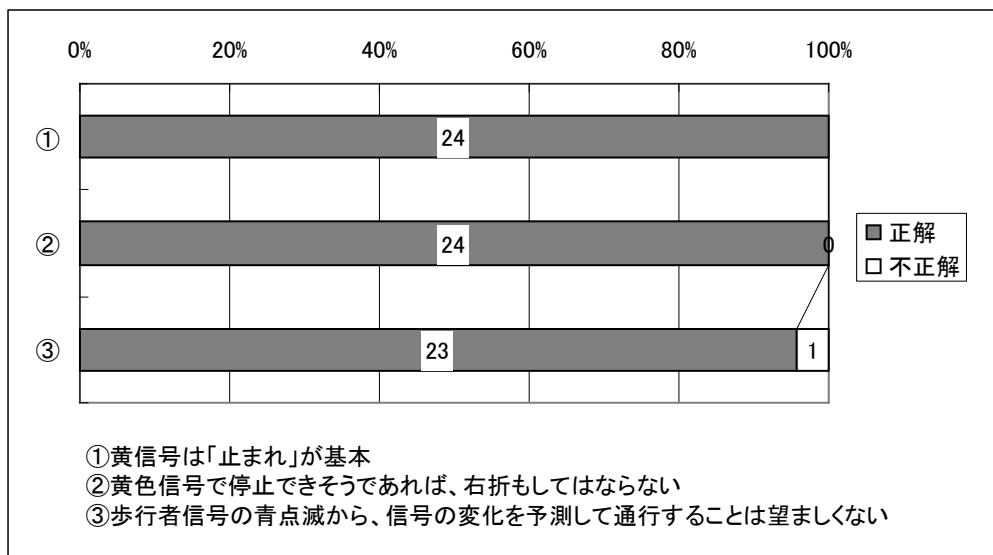


図 6-11 「信号の厳守」教示した内容の把握状況

(4) 指摘された点に対する今後の対応

「信号の厳守」コンテンツにおいて指摘された点に対する今後の対応は、「改めて気をつけようと思った」が19名で大半を占める。残る5名は「既に実行していることなので、特に気にしない」であり、うち20歳代の2名と30歳代の1名は先の「右折のポイント」に対しても同一回答をした者であった。

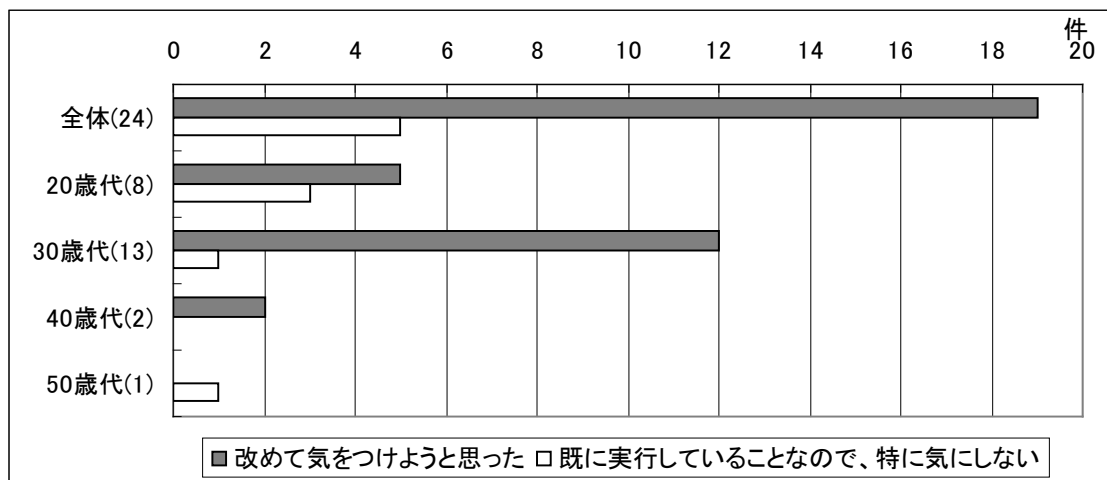


図 6-12 「信号の厳守」教示内容に対する今後の対応

6-4-5 ブレイクタイム2（横断待ち歩行者優先の法規の認知）について

横断待ち歩行者優先の法規を覚えていた者は17名で、残り7名は覚えていなかった。

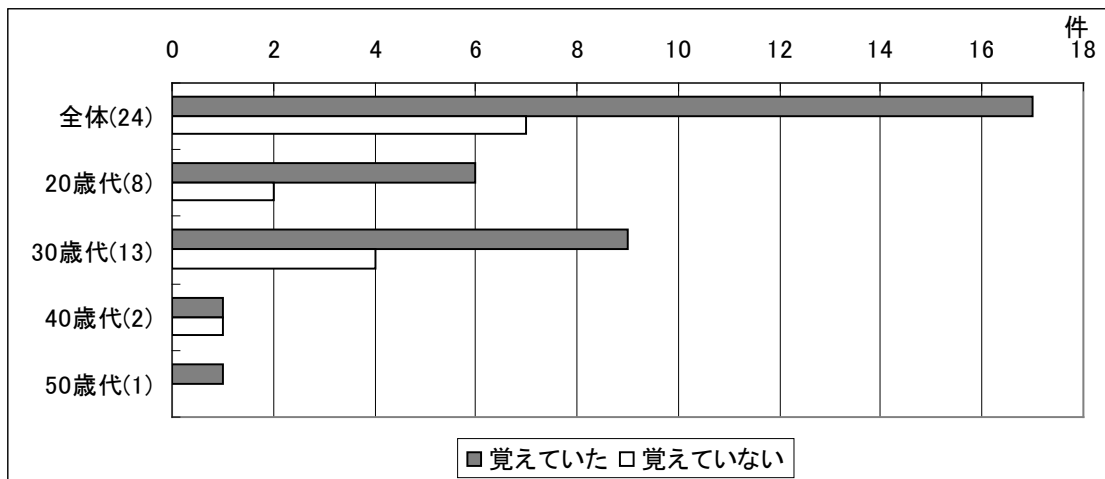


図 6-13 ブレイクタイム2（横断待ち歩行者優先の法規の認知）について

6-4-6 「一時停止の厳守」について

(1) 内容のわかりやすさ

「一時停止の厳守」コンテンツの内容のわかりやすさを4段階で設問した結果、全体では「非常にわかりやすい」が8名、「わかりやすい」が14名であり、「ややわかり難い」と「わかりにくい」がいずれも30歳代で1名ずつであった。「ややわかり難い」を回答した者は、以降で違和感として「一時停止の実映像の長さ」を指摘し、「わかりにくい」を回答したものは「ドラレコ映像(場面)がありがち」との指摘をしていた。

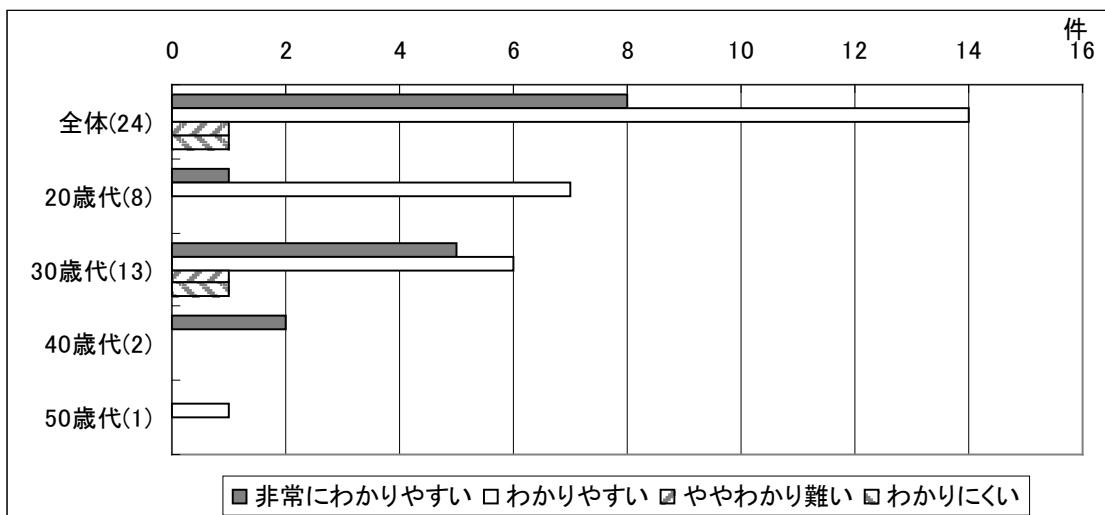


図 6-14 「一時停止の厳守」内容のわかりやすさ

(2) 映像に対する違和感の有無

「一時停止の厳守」コンテンツの映像に対する違和感の有無については、全体では4名が「違和感がある」と回答した。年齢層で見ると、20歳代と30歳代が2名ずつであり、その内容についてみると、映像の長さの指摘が2件あり一考する必要があるが検討される。

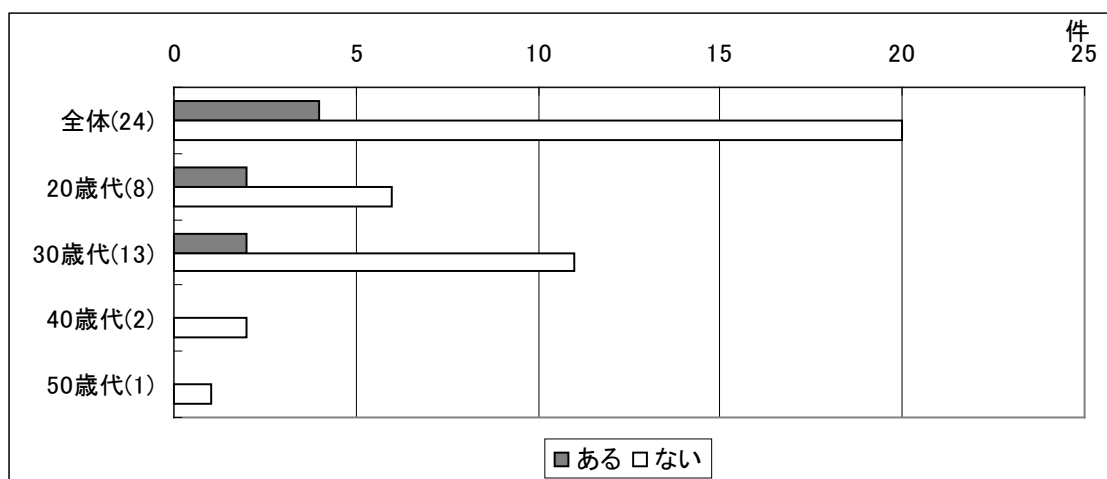


図 6-15 「一時停止の厳守」違和感の有無

表 6-3 「一時停止の厳守」違和感の内容

違和感があった点	件数
一時停止の実映像が長い	1
映像が長い	1
ドラレコの場面はありがち。停止線直前での自転車の横断が良い	1
音がない	1

(3) 教示した内容の把握状況

「一時停止の厳守」コンテンツの映像で教示していた内容の把握状況を見ると、「徐行状態では進行方向が気になってしまい、交差道路を十分確認できない恐れがある」を把握できていなかった者が6名存在した。

映像では、視野が狭くなっていることをイメージさせる加工を施し、交差道路側から出てくる自転車を○で囲って視野の外にあることを示す等の工夫を凝らしており、インパクトが低い映像ではないものとみられる。把握できていなかった者が6名存在したことは、当該 DVD 映像全体の約 30 分のうちの最後の 25 分時点での教示内容であったことから、視聴者側の集中力が落ちていたとも想定される。



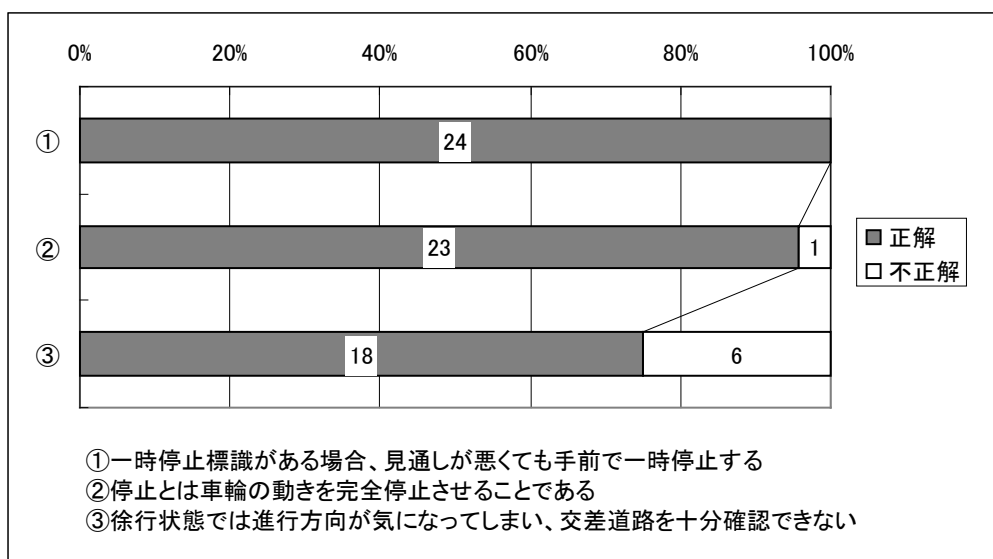


図 6-16 「一時停止の厳守」教示した内容の把握状況

(4) 指摘された点に対する今後の対応

「一時停止の厳守」コンテンツにおいて指摘された点に対する今後の対応は、「改めて気をつけようと思った」が 19 名で大半を占める。残る 5 名は「既に実行していることなので、特に気にしない」であり、先の「信号の厳守」に対しても同一回答した者であった。

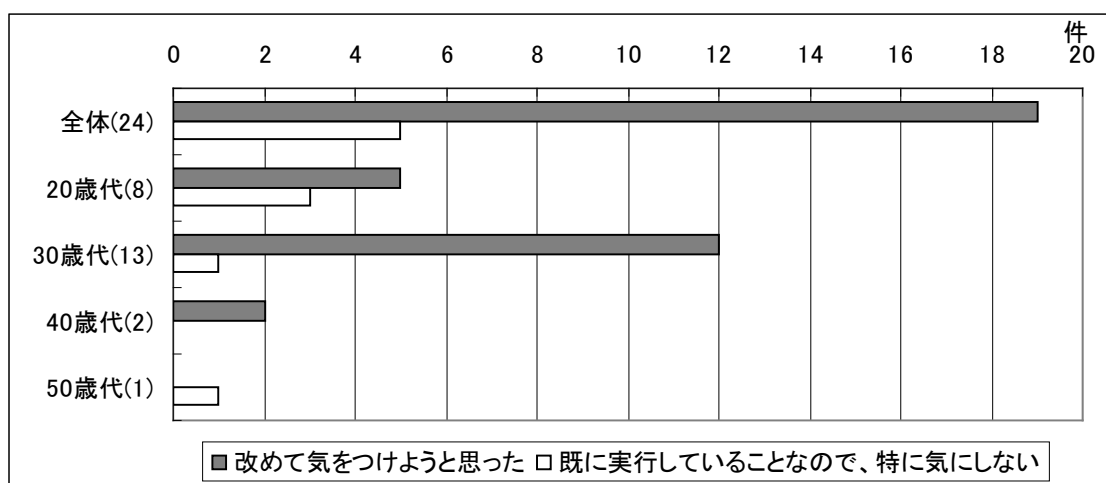


図 6-17 「一時停止の厳守」教示内容に対する今後の対応

6-4-7 その他全般

(1) 完成版ができた際の視聴の希望

完成版ができた際の視聴の希望を複数回答で設問した結果、「運転免許更新時などで活用されればよいと思う」が 21 件で最も多く、次いで「会社等の交通安全教育で活用してみたい」が 7 件であった。

一方、「わかり切っているので再視聴したいと思わない」も 1 名 (20 歳代) 存在し、前述

の各コンテンツの視聴に対する今後の行動についても全て「既に実行していることなので特に気にしない」と回答していた。

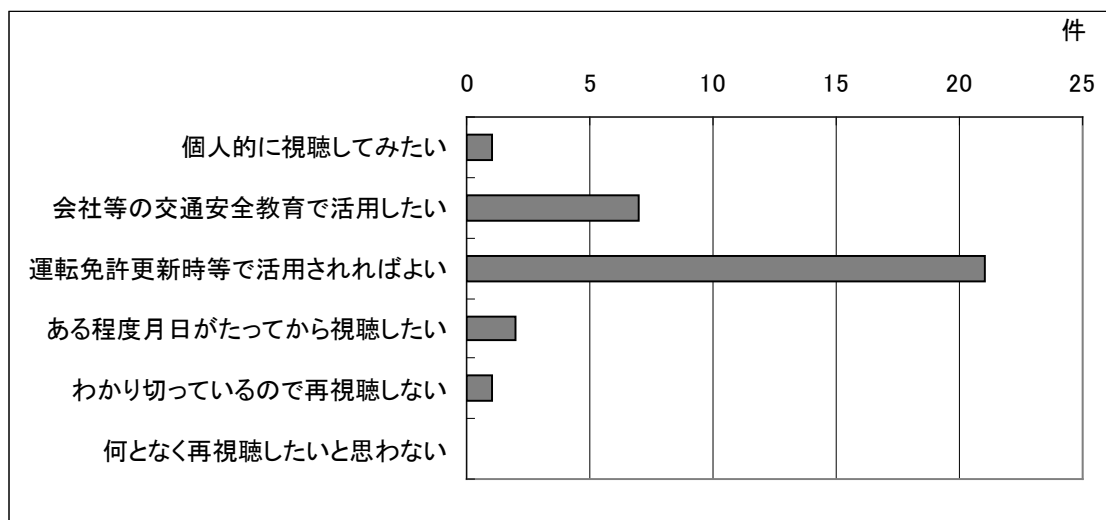


図 6-18 完成版ができた際の視聴の希望

(2) 今後、映像を活用して教えた方が良くと思う内容

今後、ドライバーに対する交通安全教育を行う場合、映像等を活用して教えるべき内容について設問したところ、事故を起こすことによる関係者の悲惨さ、恐怖感などの提供に関する意見が5件ほどあげられた。これは、アンケート対象者が消防・救急緊急自動車運転技能者課程研修生（消防署職員等に相当）であることに起因するものと想定される。その他、自転車に対する注意を促す意見が3件、走行速度の抑制や運転への集中に関わる意見も2件ずつあげられたほか、教官等が知識として取得している運転のポイント等についても提供することも挙げられた。

表 6-4 今後、映像を活用して教えた方が良くと思う内容

事故の悲惨さ	事故が本人、家族、関係者にとってどれだけ悲惨であるか教える
	事故を起こした時の残された人の悲しみを伝え、事故を起こさせないように意識させること
	事故を起こすとどうなるかももう少し恐怖感があってもよい
	事故映像から車が凶器となることの恐れを伝える
	事故映像で心理的にも注意を促してもよいと思う
自転車関係	自転車について
	自転車の予想外の動きについて
	歩行者、自転車側からみた車の動き
速度関係	制限速度の厳守も入れた方がよい
	速度の出し過ぎの危険性
運転への集中	走行時の運転行動以外の動作の危険性の説明
	わき見運転による判断の遅れ、制動距離
その他注意のポイント	プロの教官が持っている運転のポイントやどれだけ注意すべきか教える
	左右のミラーの見え方の違いや距離感の違いを教える
	死角や緊急車両のよけ方
	本線から狭い道への進入など、一時停止指示がなくても停止したほうが良いことを教える
	急ぐ気持ちから事故を起こした場合の時間的ロスの説明があると良い。
	左折の場面があってもよい

#### 6-5 「交通安全教育 DVD 案」の視聴・評価のまとめ

中央研修所において収集された上記アンケート結果から、仮編集版として作成された映像については、概ね良好な評価を得ることができた。その他指摘事項等については、交通安全教育 DVD の最終版作成にあたり、第3回委員会での審議の上、反映するものとした。

## 第7章 「交通安全教育 DVD」及び「指導要領」のとりまとめ

### 7-1 「交通安全教育 DVD」のとりまとめ

委員会等における指摘を踏まえ、「交通安全教育 DVD」の最終版（原版DVD）を作成した。なお、シナリオについては、付録1に示すとおりである。

### 7-2 「指導要領」のとりまとめ

第4回委員会での最終的な指摘を踏まえ、「交通安全教育 DVD」の活用に資する「指導要領」を作成した。指導要領については、別刷り資料として整理した。

指導要領の構成は以下のとおりである。

表 7-1 指導要領の構成

項目	概要
1. 指導のポイント	交通安全教育 DVD を活用した交通安全教育を行う際に、押さえておきたいポイントを説明。 (1)交通安全教育プランの作成 (2)映像途中停止による自由な発言時間の設定 (3)ハインリッヒの法則からみた心構え
2. 視聴前の事前資料の準備	指導実施に先立ち、準備しておきたい資料に関する説明。 (1)事故統計資料の準備 (2)事例チェックシートの準備 (3)最新の道路交通法の資料の準備
3. キャプチャーごとの視聴のポイント	DVD 映像におさめられた各コンテンツ毎の指導ポイントを説明 (1)右折のポイントについて (2)信号の厳守について (3)一時停止の厳守について (4)ブレイクタイムを活用した道路交通法の再確認 (5)DVD 全体を通した安全運転ポイント
4. 運転者の社会的責任からみた指導	事故を起こすと行政上の責任のほか、刑事上の責任、民事上の責任を負うことに関する説明。

## お わ り に

自動車安全運転センターが行った最近の調査研究によれば、過去5年間無事故・無違反の運転者であっても、翌年に事故や違反を起こす人は少なくなく、交通事故の約40%（全事故、死亡事故、重傷事故、軽傷事故）と全違反運転者の約35%は、これらの運転者が当事者となっていました。また、過去5年間にわたり無事故で違反回数2回以下の運転者は、全運転者の約90%と全違反運転者の約70%を占めており、交通事故の約70%において当事者となっていました。つまり、事故や違反の多くはごく一般的な運転者によるものであり、だれもが違反当事者や事故当事者になる可能性があります。

一方、交通事故の違反率と事故率は比例関係にあり、違反を減らすことなく、事故を減らすことは困難です。しかし、本研究で作成したDVDの映像からも明らかなように、信号無し交差点の一時停止線手前で車両を完全に停止させる運転者や、黄信号で車両を停止させる運転者は極めて少なく、現状の交通ルール遵守状況は、まだまだ不十分な状況にあるように思われます。したがって、交通事故の大幅低減を実現させるためには、全ての運転者が、基本的な安全運転行動の再確認を行い、現状の運転態度や安全意識をさらに改善することが極めて重要になると考えます。

運転態度や安全意識を改善するためのツールの一つとして、作成したDVDや指導ガイドが広く活用されることを期待します。

交通安全教育DVD

危険です！

その“焦り”運転

シナリオ

(約 27 分 24 秒)

## 1 オープニング

映像	ナレーション	
☆街を走る自動車の 様々な場面	<b>Na- 1</b>	日々の通勤や仕事、又は、買い物やレジャーなど、私たちは、あらゆる場面でクルマを利用しています。
☆様々な標識等マルチ画面	<b>Na- 2</b>	そして、クルマを運転していると、様々な道路標識や表示を目にします。 はたして私たちは、これらの交通ルールをしっかりと守っているのでしょうか。
☆街中の自動車→リレーション 『危険な運転を してはいませんか？』	<b>Na- 3</b>	日常の慣れによって、気がつかないうちに危険な運転をしてはいませんか？
☆車載カメラ（ドラレコ） ☆ドライブレコーダーの映像 （事故以外のシーン）	<b>Na- 4</b>	このビデオは、ドライブレコーダーに記録された、数々の交通違反や事故の事例から、特に事故が多発する交差点を取り上げています。 自分自身の運転行動を振り返り、安全運転のポイントを検討しながら視聴しましょう。
◆メインタイトル 「危険です！ その“焦り”運転」		

## 2-1 右折のポイント（事例1）

映像	ナレーション	
◆セグメントタイトル 「右折のポイント」  ☆街中の自動車 （右折する自動車）	<b>Na- 5</b>	交差点を右折するときのポイントについて見てみましょう。

<p>●ドライブレコー映像／交差点右折 (交差点右折、右から自転車)</p> <p>☆交差点を右折しようとしている</p> <p>☆右から来た自転車と接触しそうになる</p> <p>☆交差点右折後の走行</p> <p>.....</p> <p>*もう一度、最初から再生</p> <p>☆交差点、右折前で画面停止 (考える時間 10 秒程度)</p> <p>☆対向車両の状況を強調 ☆CG：交差点俯瞰図挿入 ・対向車の方向を強調</p> <p>☆対向する歩道を強調 ☆CG：交差点俯瞰図挿入 ・対向方向歩道の歩行者強調</p> <p>☆CG：交差点俯瞰図挿入 ・自転車の場合</p> <p>☆自車の右側 (の歩道) ☆CG：交差点俯瞰図挿入 ・自車の右側強調</p> <p>☆映像再生、対向車両が少なくなったところで停止画面</p>	<p><b>Na- 6</b></p> <p><b>Na- 7</b></p> <p><b>Na- 8</b></p> <p><b>Na- 9</b></p> <p><b>Na- 10</b></p> <p><b>Na- 11</b></p> <p><b>Na- 12</b></p> <p><b>Na- 13</b></p> <p><b>Na- 14</b></p>	<p>このドライバーは、交差点を右折しようとしています。</p> <p>右から来た自転車と接触しそうになりました。</p> <p>では、注意すべきポイントを考えてみましょう。</p> <p>.....</p> <p>あなたは右折を行う場合、どこに注意を払いますか？</p> <p>まず、対向車線の交通状況を確認します。</p> <p>次に、対向する方向の歩道上を通行している歩行者や自転車がないか注意を払います。</p> <p>特に自転車は、思っていた以上の速さで交差点に到達するので注意が必要です。</p> <p>更に、この映像では見えていませんが、運転している車両の右側の歩道上を通行している歩行者や自転車がないか、首を振り、直接見て確認します。</p> <p>安全に通行できる空間ができたなら、再度、歩道を確認して横断する歩行者等がないか十分注意を払い、右折を開始します。</p>
---	--	---



<p>☆映像再生、歩行者に気づいた 辺りで画面停止、歩行者強調</p>	<p><b>Na- 15</b></p>	<p>右折を開始してすぐに、横断歩道上を通行している歩行者の存在に気付きます。</p> <p>但し、この歩行者のみに注意を注ぐことは危険です。</p>
<p>☆映像停止画面、歩行者だけ見ているイメージ</p>	<p><b>Na- 16</b></p>	<p>人間は、目を動かさずに詳細な動きや物体を認識できる範囲は、非常に狭いと言われています。</p> <p>対向車は安全だからと、この歩行者の動向のみを見ていると・・・</p>
<p>☆映像再生、右側から自転車が現れたところで画面停止、自転車強調</p>	<p><b>Na- 17</b></p>	<p>進行方向の右側から自転車が現れました。しかしこのドライバーは、歩行者に気をとられ、自転車を認識していないと思われます。</p> <p>その結果・・・</p>
<p>☆映像再生、自転車と接触しそうになる</p>	<p><b>Na- 18</b></p>	<p>このような危険な状況を招いてしまいました。</p>
<p>☆CG：交差点俯瞰図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自車、交差点に進入し、中央付近で一時停止</li> <li>・ 右側の歩道を強調</li> <li>・ 自社、交差点を通過する</li> </ul>	<p><b>Na- 19</b></p>	<p>進行状態での安全確認は、特に右側の歩道上の歩行者や自転車を見落とす可能性があります。右折時には、交差点の中央の内側位置や横断歩道手前で一時停止し、首を振って安全確認をしましょう。</p>

## 2-2 右折のポイント (事例2)

映 像	ナレーション	
<p>●ドライブレコー映像／夜間右折 (夜間右折、二輪車と衝突)</p> <p>☆夜間、走行している</p>	<p><b>Na- 20</b></p> <p><b>Na- 21</b></p>	<p>では、夜間の右折時の事例を見てみましょう。</p> <p>このドライバーは、先の2つめの交差点を右折しようとしています。</p>

<p>☆対向車両のヘッドライトが見えてくる 画面停止</p>	<p><b>Na- 22</b></p>	<p>信号は青を表示、速度を落とさずに交差点に向かっています。</p> <p>対向車線には、対向車のヘッドライトらしき光が見えます。</p>
<p>☆停止画面 <u>(考える時間 10 秒程度)</u></p>	<p><b>Na- 23</b></p>	<p>この状態から、安全に右折できると思いますか？</p>
<p>☆映像停止状態で</p>	<p><b>Na- 24</b></p>	<p>では、どのような事態になったのか見てみましょう。</p>
<p>☆映像再生、右折する ☆二輪車と衝突、画面停止</p>	<p><b>Na- 25</b></p>	<p>対向車の前方に二輪車が走行していましたが、対向車のヘッドライトに溶け込んでしまい確認できなかったため、二輪車と衝突事故を起こしてしまいました。</p> <p>このドライバーの運転を振り返ってみます。</p>
<p>☆画面逆回して少し前に戻る ☆交差点手前から再生</p>	<p><b>Na- 26</b></p>	<p>対向車のヘッドライトらしき光に対して、その動向を十分確認せず、小回りで右折しようとしています。</p>
<p>☆更に少し前に戻る ☆左を走行している自転車を 追い抜く</p>	<p><b>Na- 27</b></p>	<p>交差点手前の左側を自転車が通行していたにもかかわらず、相手と安全な間隔を開けず、徐行もせずに自転車を追い抜き、そのまま交差点に進入しています。</p>
<p>☆更に少し前に戻る ☆左の歩行者を追い抜く</p>	<p><b>Na- 28</b> <b>Na- 29</b></p>	<p>更に戻してみると、 左側を通行していた歩行者の横を通過するときも、相手と安全な間隔を開けず、徐行もしていません。</p>
<p>☆もう一度、頭から再生</p>	<p><b>Na- 30</b></p>	<p>このドライバーは、早い速度で交差点に進入し、対向車に対する安全確認を怠ったまま右折しようとしたことが事故の原因と考えられます。</p>

☆夜間、街中を走行している自動車		夜間は視認性が非常に悪いため、先急ぎの運転行動は控え、対向車などを十分に確認しなければいけません。
------------------	--	---

## 2-3 右折のポイント

映像	ナレーション	
☆街中の右折する自動車	<b>Na- 31</b>	それでは、望ましい右折の仕方を見てみましょう。
☆自動車からの主観 ☆運転するドライバー ☆車線を変える自動車	<b>Na- 32</b>	交差点を右折するには、まず、車線変更の合図を3秒以上出してから、道路の中央に車両を寄せます。
☆自動車からの主観 ※交差点 30m 手前フリーズ ☆点滅する右側のウinker UP ☆向かってくる自動車	<b>Na- 33</b>	交差点から 30メートル手前の位置に達していたら、右折の合図として、ウインカーの合図をそのまま出しておきましょう。
☆自動車からの主観（右折車線に入る） ☆運転するドライバー ※画面フリーズ：右側に自転車	<b>Na- 34</b>	交差点へと車両を走らせながら、交差点に向かう歩行者や自転車がいないか確認します。
☆交差点中央付近まで進む自動車	<b>Na- 35</b>	十分に減速して交差点の中央付近まで進みます。
↓・・・・↓・・・・↓ ☆交差点俯瞰CG ・対向車の陰から二輪車が出てくる	<b>Na- 36</b>	↓・・・・↓・・・・↓ 対向車のドライバーが進路を譲ってくれたとしても、対向車の陰から二輪車が飛び出してくる恐れがあります。 進路を譲ってくれた車両の手前で一時停止し、対向車や周囲に対する安全確認をしたうえで、右折しましょう。
☆交差点中央に向かう自動車	<b>Na- 37</b>	また、右折できるかどうか迷ったときは、安全に右

<p>☆右折信号 UP</p> <p style="text-align: center;">↑ . . . . . ↑ . . . . . ↑</p> <p>☆自動車の横を、二輪車、対向車が通過</p> <p>☆交差点中央を徐行しながら通行する自動車</p> <p>☆左右を確認しつつ交差点を曲がるドライバー</p> <p>☆交差点を曲がる自動車</p> <p style="text-align: center;">↓ . . . . . ↓ . . . . . ↓</p> <p>☆車内から右側Aピラー（左に動くと人が現れる）</p> <p style="text-align: center;">↑ . . . . . ↑ . . . . . ↑</p> <p>☆交差点に向かってきて曲がる自動車</p>	<p><b>Na- 38</b></p> <p><b>Na- 39</b></p> <p><b>Na- 40</b></p>	<p>折できる状態になるまで待ちましょう。</p> <p>右折信号のある場合は右折信号が変わるまで待つようにしましょう。</p> <p style="text-align: center;">↑ . . . . . ↑ . . . . . ↑</p> <p>対向車に十分注意するとともに、対向車の脇をすり抜けてくる二輪車、更に右側を通行している自転車や歩行者に注意して、交差点中心のすぐ内側を徐行しながら通行します。</p> <p style="text-align: center;">↓ . . . . . ↓ . . . . . ↓</p> <p>車種によっては、前方のピラーが太く、右斜め前方の死角が大きい場合があります。身体を動かしたり、首を振ったりするなど、死角を補う運転を心がけましょう。</p> <p style="text-align: center;">↑ . . . . . ↑ . . . . . ↑</p> <p>交差点で急いでも、目的地に早く到着するわけではありません。</p> <p>対向車などの動向や位置を十分に確認した上で、右折を開始することを心掛けましょう。</p>
--	--	---

### 3 ブレイクタイム 1

映 像	ナレーション	
<p>◆セグメントタイトル 「ブレイクタイム」</p> <p>☆市街路の主観映像 (途中、速度を示す標識等を通過)</p>	<p><b>Na- 41</b></p> <p><b>Na- 42</b></p>	<p>ここで、一息入れて、簡単なクイズを行ってみましょう。</p> <p>市街路を走行しています。</p>

☆赤信号で停止、停止画面	<b>Na- 43</b>	この道路の最高速度は時速何キロでしょうか？
☆映像逆回しで、標識があるところまで戻る		
☆最高時速 30 キロの標識	<b>Na- 44</b>	途中の標識に時速 30 キロと出ていました。気がつきましたか？

#### 4-1 信号の厳守 (事例3)

映 像	ナレーション	
<p><b>◆セグメントタイトル</b> <b>「信号の厳守」</b></p> <p>☆信号機</p> <p><b>●ドラレコ映像／信号右折</b> (交差点右折、対向車直進)</p> <p>☆道路を直進</p> <p>☆前方交差点の信号黄色に変わったところで画面停止 (考える時間 10 秒程度)</p> <p>☆映像再生</p> <p>☆交差点を右折、直進してきた対向車両と接触しそうに</p>	<p><b>Na- 45</b></p> <p><b>Na- 46</b></p> <p><b>Na- 47</b></p> <p><b>Na- 48</b></p> <p><b>Na- 49</b></p>	<p>「信号」に対する交通ルールについて、改めて振り返ってみましょう。</p> <p>このドライバーは、先の信号機がある交差点を右折しようとしています。</p> <p>信号が黄色に変わりました。あなたならどうしますか？</p> <p>では、この先を見てみましょう。</p> <p>対向車が強引に交差点内に進入して来たため、衝突しそうになりましたが、右折したこのドライバーに問題はなかったのでしょうか？もう一度見てみましょう。</p>

<p>.....</p> <p>☆最初から再生、前方交差点の信号が黄色に変わったところで画面停止</p> <p>☆画面停止状態で、交差点までを示す矢印を標示</p> <p>☆映像再生、交差点に進入、信号が赤変わったところで画面停止</p> <p>☆映像再生、接触しそうになるところで画面停止</p> <p>☆映像再生、最後まで</p> <p>.....</p>	<p><b>Na- 50</b></p> <p><b>Na- 51</b></p> <p><b>Na- 52</b></p> <p><b>Na- 53</b></p> <p><b>Na- 54</b></p>	<p>.....</p> <p>信号が黄色に変わりました。</p> <p>この時点で減速すれば、交差点手前で十分停止できる距離です。</p> <p>交差点に進入した時点で、信号は赤に変わっています。</p> <p>衝突しそうになった原因として、対向車の無謀な運転、そして、このドライバーの、信号が黄色に変わった時点では交差点手前で停止できる状況であったにもかかわらず行った、強引な右折があげられます。</p> <p>.....</p> <p>では、ここで信号の意味について、改めて解説します。 青信号は「進め」ではなく「進むことができる」、赤信号は「止まれ」、黄信号も「止まれ」が基本です。しかし、「黄信号に変わったときに停止位置に近づいていて、安全に停止することができない場合は、そのまま進むことができる。」ですが、十分な注意が必要であり、その通行にはリスクを伴うことを把握しておきましょう。</p>
--	--	---

--	--	--

#### 4-2 信号の厳守 (事例4)

映 像	ナレーション	
☆夜間の街を走る車両  <b>●ドラレコ映像／夜間信号右折</b> (夜間交差点右折、対向車衝突)	<b>Na- 55</b>	続いて、夜間の走行時の事例です。
☆夜間の道路を走行している  ☆交差点の手前で画面停止 <u>(考える時間 10 秒程度)</u>	<b>Na- 56</b>	このドライバーは、交差点を右折しようとしています。 ここでの注意すべきポイントを挙げてみましょう。
☆前方車両の右側強調 ☆CG：交差点俯瞰図挿入 ・先行車両の死角となって見えない車両	<b>Na- 57</b>	前方を走る車両の右側が明るくなっています。これは、前方の車両が死角となって見えない対向車のヘッドライトではないかと予測できます。
☆停止画面 ☆逆回しして少し戻る ☆歩行者信号の点滅を再生	<b>Na- 58</b>	この位置に到達する以前を見てみると、歩行者用の信号が点滅して赤に変わっています。
☆交差点手前で画面停止 <u>(考える時間 10 秒程度)</u>	<b>Na- 59</b>	あなたならこの場面で、どのような行動をとりますか？
☆映像再生	<b>Na- 60</b>	では、この事例の続きを見てみましょう。
☆衝突したところで画面停止	<b>Na- 61</b>	強引な右折により、衝突事故を起こしてしまいました。 このドライバーは、歩行者用信号の点滅から、前方の信号が黄色に変わることを予測し、急いで右折し

<p>.....</p> <p>☆黄信号を走り抜ける街中の車両</p>	<p><b>Na- 62</b></p> <p><b>Na- 63</b></p> <p><b>Na- 64</b></p>	<p>たことが事故要因の一つと言えます。</p> <p style="text-align: center;">.....</p> <p>この映像を見てください。</p> <p>多くの車両が、信号が黄色に変わっても停止していません。</p> <p>しかし、黄信号で通行しても、その先の赤信号で停止することになります。無理な黄信号の通行は時間の短縮にならないのです。</p>
<p>☆信号が黄色に変わる</p> <p>☆交差点で止まっている自動車（街中の車両）</p>	<p><b>Na- 65</b></p>	<p>本来、黄信号は「止まれ」が基本です。この基本ルールをしっかりと守って運転を行いましょう。</p>

## 5 ブレイクタイム2

映 像	ナレーション	
<p><b>◆セグメントタイトル</b></p> <p><b>「ブレイクタイム」</b></p> <p>☆市街路の主観映像 (途中、横断歩道を渡ろうとしている歩行者の前を通過)</p> <p>☆交差点手前で止まる、で停止画面</p> <p>☆映像逆回しで、歩行者がいたところまで戻る</p>	<p><b>Na- 66</b></p> <p><b>Na- 67</b></p> <p><b>Na- 68</b></p> <p><b>Na- 69</b></p>	<p>ここで、一息入れて、簡単なクイズを行ってみましょう。</p> <p>市街路を走行しています。</p> <p>途中、何かに気づきましたか？</p> <p>横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいました。法規上では、車両を運転しているあなたが一時停止をして、歩行者に道を譲らなければなりません。</p>



--	--	--

**6-1 一時停止の厳守 (事例5)**

映 像	ナレーション	
<p><b>◆セグメントタイトル</b> <b>「一時停止の厳守」</b></p> <p>☆一時停止の規制のある一般道（殆どの車両が停止線を越えている）</p> <p>.....</p>	<p><b>Na-70</b></p> <p><b>Na-71</b></p>	<p>まずは、この映像を見てください。 一時停止の規制がある一般道を観察してみました。</p> <p>殆どの車両が、停止線の直前で停止していません。 「見通しの利かない位置にある停止線で止まっても意味がない」「時間の無駄」などといった交通ルール無視や先急ぎの感覚が常習化していることが考えられます。</p> <p>.....</p>
<p><b>●ドラマ映像／生活道路衝突</b> (生活道路、自転車と衝突)</p> <p>☆生活道路を走行、</p> <p>☆交差点で自転車と衝突、画面停止</p> <p>☆映像巻き戻し、交差点進入前で画面停止</p> <p>☆停止画面</p> <p>☆文字表示</p> <p>①まず、停止線直前で停止する</p>	<p><b>Na-72</b></p> <p><b>Na-73</b></p> <p><b>Na-74</b></p> <p><b>Na-75</b></p>	<p>では、この事例を見てください。</p> <p>出会い頭による自転車との衝突事故です。</p> <p>この交差点の手前には、一時停止の標識と、停止線が設置されています。</p> <p>このような生活道路内の交差点を通行するとき、あなたならどうしますか？</p> <p>1 まず、停止線直前で停止する。その後、徐行し</p>

<p>その後、徐行し左右が見通せるところで再度停止して安全確認する</p> <p>②左右が見通せないので、見通せるところまで徐行する その後、停止して左右を確認する</p> <p>③左右が見通せるところまで徐行しながら確認する</p> <p>☆文字表示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正解の①のみ</li> </ul> <p>☆交差点進入前停止画面</p>	<p><b>Na-76</b></p> <p><b>Na-77</b></p>	<p>左右が見通せるところで再度停止して安全確認する。</p> <p>2 左右が見通せないので、見通せるところまで徐行する。その後、停止して左右を確認する。</p> <p>3 左右が見通せるところまで徐行しながら確認する。</p> <p>正解は「1」です。</p> <p>見通しの悪い交差点でも必ず停止線直前で停止し、その後、徐行して交差点を見通せるところで再び停止して左右の安全を確認しなければなりません。 カーブミラーが設置してある場合は補助的に使用し、必ず直接見て安全確認を行いましょう。</p>
---	---	---

6-2 一時停止の厳守		
映 像	ナレーション	
<p>☆CG：交差点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交差点に向かう自動車、優先道路に二輪車</li> </ul>	<p><b>Na-78</b></p>	<p>ここで、速度と停止距離について考えてみましょう。</p> <p>自動車は交差点に向かって走行し、交差する優先道路を二輪車が右側から通行してきます。</p>
<p>☆CG：交差点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車、徐行で交差点に進入し停止</li> </ul>	<p><b>Na-79</b></p>	<p>自動車が一時停止せずに速度を時速 20 キロに減速して交差点に進入した場合、優先道路の二輪車を確認してから急ブレーキを踏んで止まるまでの走行距離は、およそ 9m です。</p>
<p>☆CG：交差点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二輪車、急ブレーキで停止</li> </ul>	<p><b>Na-80</b></p>	<p>一方、交差側の優先道路を通行する二輪車が自動車に気がつきブレーキをかけて止まるまでの距離は、時速 50 キロでは、およそ 32m となります。</p>

<p>☆CG：交差点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車に二輪車衝突</li> </ul>	<p><b>Na- 81</b></p>	<p>このことから、自動車が一時停止せずに減速しただけで交差点に進入した場合、優先道路を時速 50 キロで走行する二輪車が交差点から 32m よりも手前の位置にいたら、自動車が急ブレーキをかけても二輪車は確実に自動車と衝突してしまいます。</p>
<p>☆CG：交差点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二輪車転倒、自動車と衝突</li> </ul> <p>.....</p>	<p><b>Na- 82</b></p>	<p>二輪車が急ハンドルで回避を試みたとしても、転倒してしまう可能性もあります。</p> <p>.....</p>
<p>●ドラレコ映像／生活道路衝突 (生活道路、自転車と衝突)</p>		
<p>☆進行方向を強調</p> <p>☆左から自転車、衝突</p>	<p><b>Na- 83</b></p>	<p>また、減速したとはいえ走行状態では進行方向が気になってしまい、交差道路側を十分に確認できない恐れがあります。つまり、交差道路側の車両などの発見が遅れ、その分ブレーキ操作も遅れ、衝突事故を起こしてしまう確率が非常に高い、ということです。</p>

### 6-3 一時停止の厳守

映像	ナレーション	
<p>☆一時停止のある生活道路</p>	<p><b>Na- 84</b></p>	<p>では、一時停止の標識や標示のある交差点では、どのように通行することが望ましいでしょうか。</p>
<p>☆向かってくる自動車</p> <p>☆停止線直前で停止する</p> <p>☆CG：見通しの悪い道路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の前を車両が通過</li> </ul> <p>↓.....↓.....↓</p>	<p><b>Na- 85</b></p>	<p>停止線直前では確実に停止します。停止とは、車輪の動きを完全に止めることです。交差車両などを安全にやり過ごすことと、交差点への進入速度を抑制するという意味があります。</p> <p>↓.....↓.....↓</p>
<p>☆停止線を越えて、左右が見え</p>	<p><b>Na- 86</b></p>	<p>止まったと言っても、これでは停止線直前での一時</p>

<p>るところで止まる ↑・・・↑・・・↑</p> <p>☆交差点に向かう（主観） ☆停止線直前で止まる自動車 ☆安全確認をするドライバー</p> <p>☆自動車が現れる（交差道路側から） ※画面フリーズ</p> <p>☆安全確認するドライバー ☆安全確認するドライバー（対向車両をやりすごす） ☆自動車の前を通過する対向車両 ☆通過する自動車（フレームアウト）</p> <p>☆見通しの悪い交差点に向かってきて、通過する自動車</p>	<p><b>Na- 87</b></p> <p><b>Na- 88</b></p> <p><b>Na- 89</b></p> <p><b>Na- 90</b></p>	<p>停止にはなりません。 ↑・・・↑・・・↑</p> <p>停止したら、停止状態のまま、左右からの車両などの進行を確認し、安全の確認ができたらずっくりと前進します。</p> <p>見通しが悪い場合は、前進したのち、交差道路を見通せるところで再び停止して安全の確認をするように心がけましょう。</p> <p>左右の安全を確認しながら、小刻みに前進して、運転している車両の存在を、交差する道路を通行する車両などに認知させます。</p> <p>停止状態で安全確認をしても、目的地に到着する時間は大きく変わりません。一時停止場所では停止線直前で必ず停止し、確実に安全確認を行うことを習慣づけるようにしましょう。</p>
--	---	--

7 エンディング		
映像	ナレーション	
<p>☆ドライブレコーダー映像の様々な危険な場面</p> <p>☆一時停止、信号機の2面文字表示 『一時停止の厳守』 『信号表示の厳守』</p>	<p><b>Na- 91</b></p> <p><b>Na- 92</b></p>	<p>交通違反や交通事故を起こした場合には、当然それに相当する社会的な制裁や非難を受け、その責任を問われることとなります。</p> <p>一時停止の厳守、信号表示の厳守は最も基本的なルールのひとつです。</p>

<p>☆正しい右折および一時停止の仕方の場面</p>	<p><b>Na- 93</b></p>	<p>交通ルールは必ず守り、そして、常に余裕を持って、その時々交通状況に応じた細やかな心遣いで、事故を起こさないように心掛けることが重要です。</p>
<p>☆運転センター外観</p>	<p><b>Na- 94</b></p>	<p>自動車安全運転センターでは、安全運転の研修のほか、交通事故に関する証明書、運転経歴に係る各種証明書の交付に加え、運転経歴に係る各種証明書の交付を受けた方のうち、1年以上無事故・無違反の方には、安全運転の証として証明書に添えて、SDカードをお渡ししています。</p>
<p>☆SD カード</p>		<p>事業所などにおける安全運転管理に役立っている</p>
<p>☆街を走る自動車の 様々な場面</p>		<p>ほか、自身の安全運転意識の改革にも役立つので参考にとすると良いでしょう。</p>
<p>☆映像提供 テロップ° ☆自動車安全運転センター テロップ°</p>		<p style="text-align: center;">END</p>

## 交通安全教育DVD(試作版)に関する 視聴アンケート

このアンケートは、これまでの運転経験から見落としがちな初歩的な交通ルール等を改めて確認させることを目的とした交通安全教育 DVD の作成にあたり、試作版に対する解り易さやご意見をお伺いするものです。

今回の研修とは別に、交通安全教育の場において視聴したと仮定したうえで、感想等を感じたままお答えください。

(1) 性別	1. 男性    2. 女性	(2) 年齢		歳	
(3) 自動車の運転経験年数					年

視聴いただく映像は、以下の設問単位で区分されています。

設問単位で映像を停止しますので、視聴した内容についてお答えください。

なお、音声については仮のものであることを了解願います。

## 1. 「右折のポイント」について

問 1-1. 内容は、わかりやすかったですか。

- 1 : 非常にわかりやすい
- 2 : わかりやすい
- 3 : ややわかりにくい
- 4 : わかりにくい

問 1-2. この映像を見て、違和感がありましたか。

- 1 : ある
- 2 : ない

「1 : ある」の場合、感じた違和感についてお答えください。

「1 : ある」の場合、感じた違和感についてお答えください。

問 1-3. 「右折のポイント」として、映像で示していたものと思われるものに「○」印をつけてください。(複数可)

- 1 : 右折する際は、首を振って目視で安全を確認する。
- 2 : 右折時は、小回りで急いで通行をする。
- 3 : 合図は、交差点から30メートル手前位置から出す。
- 4 : 対向車両が譲ってくれたら、素早く右折を実施する。
- 5 : 交差点中央位置で、対向車との間隔が判らない場合には、停止したほうがよい。

問 1-4. この映像を見て、ご自身の右折時の運転行動について、今後、指摘されていた点に気をつけようと思いましたか。

- 1 : 改めて気をつけようと思った。
- 2 : 既に実行していることなので、特に気にしない。
- 3 : わかっているけど、現実には実施できるとは限らない。
- 4 : 気をつける気はない。

## 2. 「ブレイクタイム1」について

問 設問に正解することができましたか。

1 : はい                      2 : いいえ

## 3. 「信号の厳守」について

問3-1. 内容は、わかりやすかったですか。

1 : 非常にわかりやすい  
2 : わかりやすい  
3 : ややわかりにくい  
4 : わかりにくい

問3-2. この映像を見て、違和感がありましたか。

1 : ある                      2 : ない

「1 : ある」の場合、感じた違和感についてお答えください。


問3-3. 「信号の厳守」として、映像で示していたものと思われるものに「○」印をつけてください。(複数可)

1 : 黄信号は、「止まれ」が基本である。  
2 : 黄信号で停止できそうでも、右折であれば優先して通行できる。  
3 : 歩行者用信号の青点減から、車道の信号が黄信号に変わることを予測して、急いで通行することは望ましくない。

問3-4. この映像を見て、ご自身の信号表示に対する運転行動について、今後、指摘されていた点に気をつけようと思いましたか。

1 : 改めて気をつけようと思った。  
2 : 既に実行していることなので、特に気にしない。  
3 : わかっているけど、現実には実施できるとは限らない。  
4 : 気をつける気はない。



#### 4. 「ブレイクタイム2」について

問 説明された交通ルールを覚えていましたか。

- 1 : はい      2 : いいえ

#### 5. 「一時停止の厳守」について

問5-1. 内容は、わかりやすかったですか。

- 1 : 非常にわかりやすい  
2 : わかりやすい  
3 : ややわかりにくい  
4 : わかりにくい

問5-2. この映像を見て、違和感がありましたか。

- 1 : ある      2 : ない

「1 : ある」の場合、感じた違和感についてお答えください。


問5-3. 「一時停止の厳守」として、映像で示していたものと思われるものに「○」印をつけてください。（複数可）

- 1 : 一時停止の標識があっても、見通しが悪い場合には見通せる場所まで進行してから完全停止する。  
2 : 停止とは車輪の動きを完全に止めることである。  
3 : 徐行状態では進行方向が気になってしまい、交差道路側を十分確認できない恐れがある。

問5-4. この映像を見て、ご自身の信号表示に対する運転行動について、今後、指摘されていた点に気をつけようと思いましたか。

- 1 : 改めて気をつけようと思った。  
2 : 既に実行していることなので、特に気にしない。  
3 : わかっているけど、現実には実施できるとは限らない。  
4 : 気をつける気はない。

## 6. その他全般について

問6-1. 今後、このDVDは、更なる精査を行って完成版を本年度末までに作成します。完成版ができた場合、あなたは視聴してみたいと思いますか。該当するものを全て選んでください。

- |   |                                  |
|---|----------------------------------|
| 1 | : 個人的に視聴してみたい。                   |
| 2 | : 会社等の交通安全教育で活用してみたい。            |
| 3 | : 運転免許更新時などで活用されればよいと思う。         |
| 4 | : 既に理解したので、ある程度月日が経ってから改めて視聴したい。 |
| 5 | : わかり切っている内容なので、再度視聴したいとは思わない。   |
| 6 | : なんとなく、再視聴したいとは思わない。            |

問6-2. 今後、ドライバーに対する交通安全教育を行う場合、本試作版DVDで教える内容以外で、映像等を活用して教えるべき内容として、あなたが教えたほうが良いと思う内容がありますか。

1 : ある	2 : ない
--------	--------

「1 : ある」の場合、お考えになる内容等について記述願います。


以上、ご協力ありがとうございました。

平成 23 年度調査研究報告書

交通事故映像の活用による交通安全教育DVDに関する調査研究

この著作物の著作権は、自動車安全運転センターに属します。  
無断使用を禁じます。

平成 24 年 3 月



自動車安全運転センター調査研究部

〒102-0084 東京都千代田区二番町 3 番地

電話 03-3264-8617 Fax 03-3264-8610

URL <http://www.jsdc.or.jp>